

平成24年度鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会第1回会議録

日 時	平成24年5月24日(木) 10:00~12:00
場 所	鎌ヶ谷市役所3階303会議室
出席委員	内海崎委員、平田委員、平林委員、長池委員、坂本委員、竹内委員、秋元委員、田中委員
欠席委員	三原委員、鈴木委員
事務局	山中市民生活部副参事(事) 市民活動推進課長、川名男女共同参画室長、中川主査、中村プロジェクトマネジャー
記 録	中川
傍聴者数	0名

会 議 内 容

○会議に先立って、4月の人事異動により山中市民生活部副参事よりあいさつ。

- 1 開 会 川名男女共同参画室長
- 2 会長挨拶 男女共同参画推進懇話会会長
- 3 会議録署名人の選出 名簿順により竹内委員、秋元委員が選出された。

4 議題

(1)「男女共同参画推進計画」進行管理について(23年度)

(事務局)資料により説明。

(会長)何かご意見ありますか。

(A委員)計画の中では「事業評価の導入」となっていますが、全体まとめの文章の中では「事業評価方法の変更」と表現が違うが。

(事務局)まとめの文章表現を「事業評価の導入を行いました。」に修正いたします。

(会長)このまとめは市民に見てもらうものですよね。

(事務局)市ホームページにアップするものです。

(会長)そうしますと、事業評価の方法が見やすい位置にないと。

(事務局)表紙の裏に注意書きとして記載しています。

(会長)まとめで導入しましたと言っていて、新しく導入しているなら、流れとして事業集計結果の前に合ったほうがいいのか。

(事務局)そういたします。

(A委員)事業集計結果の下の棒グラフがちょっとわかりづらいですね。重複で100%になりませんか。

(会長)丁寧な説明が必要で注釈が必要ですね。1の事業が35となりますが実施した141事業うちの35%あったということですね。事業数にしてしまうか。どちらがわかりやすいと思いますか。

(B委員)100%にならない注釈をつけてこのままのものがいいと思います。全体の中でどれくらいかわかるので。

(C委員)スペースの問題もあるのかもしれないのですが、円グラフにそれぞれして、何事業のうち何事業がその視点にあって、全体の割合もわかるとすると両方わかる。表記を57%となっているのを何事業中何事業と併記すれば。%でとらえるの

- と、わかりにくいですが事業2番の実績のように5.9%で576人中34人となると、そんなに少ないのかということがわかります。併記は1つの方法と思います。
- (会長) そういったやり方は可能ですか。
- (事務局) 併記は可能です。
- (会長) 入れた方が親切ですね。
- (C委員) 一般市民が見る時に視覚に捉えられる所から見ていって、興味が湧くともっと細かなものまで見たいということになってくるかと思います。
- (D委員) 知らない人が見たら、数字だけ並んでいるとわからない。グラフとかがあって%があるとわかりやすいです。数字だけだとわかりにくいです。
- (会長) 見るのも大変ですよね。なにか網掛けをしたりしないと数字だけだと見にくいですね。むしろグラフを先に出して、具体的な数値は下にするのもありますね。数字の表を色分けする、数字のところとグラフのその表示を色を一致させることができるなら見やすいですね。
- (事務局) 色を一致させます。
- (D委員) 実施結果の評価の方法が一覧の中でわかるようにしてほしいです。
- (事務局) 工夫します。
- (C委員) 評価の方法の注釈もそれぞれのページに入るようにしてほしいです。
- (B委員) 目標ごとに入れたらいかがですか。
- (会長) ホームページの切れるところなどに入れたらいいのでは。イラストの入る切れ目とか、目標ごとか。
- (事務局) 見やすい工夫をしてみます。
- (C委員) 一覧表の一行ごとに色を変えると見やすいと思います。
- (A委員) 昨年いただいたものと、今回のもので入っていない所属所があるのですが、1番の消防総務課や2番のこども支援室が抜けていたり、その他にもあるようですが。
- (事務局) 抜けている所は確認し、出し直します。改めて、追加でお送りします。
- (A委員) 58と59の事業の実績内容の情勢ではなく、醸成では。
- (事務局) 修正します。
- (事務局) 62と63の事業で平成23年度の実施予定なしと回答がありますが、今回の担当課用の進行管理表の変更により、第1次実施計画期間の5年間の内にどこかで計画するという全体計画が見える形となりましたので、23年度に計画がなくてもどこかで必ず取り組むということがわかるようになりました。23年度になくても、取組年度を右の欄に参考として記載してあります。今回の様式は実施していく上で成果があると感じております。
- (会長) これを見ることにより担当課がやらなくてはという考えになりますよね。
- (事務局) 取組事項としたが未実施だったところは、次年度よりまとめの文章にできなかったところの担当課を表示します。
- (会長) 66の事業の実績内容で文言の統一で「セクシャル」は「セクシュアル」ですね。また、課題の欄の教職員の男女共同参画の意識喚起に努めたけれど「さらなる工夫が必要」ということは、課題があったので工夫が必要ということだと思うのですが、24年度を取組からは見えてこない、県の研修に参加させることやモラールアップ委員会を充実させるなど学校独自のものはなかったのか、その辺がよくわからないのですが。
- (事務局) 事務局では詳しく聞いていませんので、確認いたします。
- (会長) 校長会の取組はいかがですか。
- (E委員) 校長会で独自の研修は設けていないです。各学校独自でモラールアップ委

員会は設けています。市全体では指導室がモラールアップ委員会を設けています。(会長) 報告を見ると、不祥事防止の研修、セクハラと書いてあるとそのためのモラールアップ委員会なのか、全体の意味のモラールアップ委員会なのかが、市民の方が見た時にわからない。確認していただきたい。

(F委員) 1番の事業実績で141人/576人の意味がわからないのですが。

(事務局) 市の全ての審議会委員数が576人でそのうち女性委員が141人いるので、全審議委員の中で女性委員の割合が24.5%となりますということです。

(会長) 3番の実績内容のように丁寧に説明があるとわかりやすいですね。

(事務局) そのような表記に修正します。

(A委員) 23年度と24年度の取組が同じものがいっぱいあるので、同じものは「23年度と継続」と表記してくれるとわかりやすくなります。

(事務局) そのように修正します。

(A委員) 男女共同参画の視点で空欄となっているのはどういうことですか。

(事務局) 5項目の視点に該当しないというものです。

(A委員) 該当しないという表記が必要では。

(会長) 全体で実施できなかったが多いのは男女共同参画室、商工振興課。ということは、推進に向けての体制が人数の問題か取組の問題なのかその辺を見ていかなくては。どこかで注釈をつけるなり、現状をしっかりと説明をするようにしておかないといけないのでは。

(F委員) 商工会女性部があり、女性部の部長がこの懇話会に来ています。

(会長) とすると、28番の女性役員を増やすことに対して実績なしとはどういうことでしょうか。増やす対象となっている団体を商工振興課はどのように考えているのでしょうか。

(事務局) これは、商工振興課が商工会等の女性委員を増やしてほしいということのアクションを起こすという行政としての取組なので、商工振興課がアクションを起こせなかったということで、商工会自体のことを記載しているものではないです。

(会長) 商工会自体の役員は何人いるのですか。

(F委員) 35名で女性は1名です。

(会長) そういうところを増やしてほしいという働きかけですね。

(C委員) 商工会のホームページにも女性部って載っていますね。でも実際、役員となると女性は少ないのですね。

(B委員) 13番の人材育成のことですが、千葉県からの情報待ちという形で、発掘するという事ではないのですか。

(事務局) 千葉県の人材リストの中に鎌ヶ谷市の方の情報が載るのですが発掘し、それに登録してもらおうというスタンスなのですが、人材を見つけられなかったということです。

(B委員) 千葉県の人材リストではなく、鎌ヶ谷市独自の登録方法などできないかとも思うのですが。

(会長) インターネットを使えばできますよね。

(B委員) 男女共同参画室の事業実施できなかったことについて、男女共同参画室で持つのではなく、例えば54番などは、商工振興課でやっていくことが効率的ではないか、もう男女共同参画室から切り離してもいい頃なのではないかと。それと取組内容の文章に「検討」が2つ重なってあるのは単に記入ミスですね。73番のリプロダクティブ・ヘルス/ライツも健康増進課に任せていい事業なのではないかと思います。これからの取組として検討してもいいのではと思います。

- (会長) 54番はどのような形で男女共同参画室は計画した経緯があったのですかね。
男女共同参画室が関わっていないと、単独で人事室や商工振興課ができないという
ことで入れてあったのですか。
- (事務局) 昔の経緯はそういったことであつたと思います。それを引き続き今回も入
れたということです。
- (会長) 今は人事室や商工振興課もセクハラに関しての研修の必要性や視点というも
のも理解しているのであれば、男女共同参画室で関わる必要性もないし任せてし
まえば。リプロに関して健康増進課はプレママ・女性のための健康教室となっ
ていますが、リプロはもっと範囲が広いので、そういうものも、健康増進課で
できるかという検討が必要ではと思います。
- (B委員) 男女共同参画室が実施できなかったのは、取組過ぎているという感じがあ
るので、任せられるものは任せるよう、責任主体を移せるものがあればという整
理が必要と感じました。
- (事務局) 連携が図れるもの、情報提供で任せられるものというように流しているも
のがあります。5年間の計画では計上されていますので、しっかり他所属で実施
できているかを確認しながら、後期の5年で削れるかどうかは検討していきたい
と思っております。
- (B委員) 89番の職員研修ですが幹部職員も入っているのですか。
- (事務局) 含めてです。特にこの計画のメンバーである推進会議メンバーは出席下さ
いと呼び掛けています。
- (B委員) 男女参画の研修は幹部職員にこそ受けてもらいたいものなので、別枠でも
研修を設けてもいいくらいだと思います。
- (会長) 柏市は管理職になった時に必ず研修を受けるというように組み立てられてい
ます。また、80番の事業は予定なしとなっていて、今後もないとはどういうこと
なんですか。
- (事務局) 委員に資料をお送りした後に確認しましたところ、実は取組があるという
ことがわかったので、修正したものと合わせて追加したものを、委員に後日あら
ためてお送りします。

* その他、意見なし。

その他

- ・ 懇話会の今後の検討課題について事務局より説明。
安全対策課より鎌ヶ谷市地域防災計画の見直しがあり、男女共同参画の視
点を盛り込むために、懇話会から地域防災計画に盛り込む提言をいただきたいと
の依頼あり。
→検討課題とすることで決定。
今後の予定は、年内に提言をまとめる。年内3回の会議を予定。次回会議に
は、安全対策課からの説明と、専門家による研修を予定。その後2回の会議で
まとめる。地域防災計画は全体の大きい計画なので、男女共同参画の視点は
大きな理念的なものとなる。
- ・ 男女共同参画の視点に立った保育活用について事務局より説明。
かねてより審議会などで女性委員割合が伸びないことがあり、庁内の推進会議
で検討し、今年度より市の全ての事業・審議会に保育をつけることとなった。保
育ボランティアも養成したこともあり、市民協働で進めていく。
- ・ 「娘・息子に伝えたい体のこと川柳」の選考

結果以下のとおりとなった。

(最優秀)「みな悩む 心と体の 成長痛」

(優 秀)「思いやり 片手に持って 手をつなぐ」

「思いやる 相手も自分も 大切に」

○以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成24年7月12日

氏名 竹 内 春 美

氏名 秋 元 孝 男